

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成29年11月6日（月）9：15～12：30												
場 所	宗像市役所103会議室												
委 員	<p style="text-align: right;">*■出席 □欠席（五十音順、敬称略）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">■ 井上豊久</td> <td style="width: 25%;">■ 川野顕太郎</td> <td style="width: 25%;">■ 木村健次</td> <td style="width: 25%;">■ 佐藤靖成</td> </tr> <tr> <td>■ 種田明美</td> <td>■ 時枝寛</td> <td>■ 東博子</td> <td>■ 福岡佐知子</td> </tr> <tr> <td>■ 山田明</td> <td>■ 吉田晴希</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（五十音順、敬称略）</p>	■ 井上豊久	■ 川野顕太郎	■ 木村健次	■ 佐藤靖成	■ 種田明美	■ 時枝寛	■ 東博子	■ 福岡佐知子	■ 山田明	■ 吉田晴希		
■ 井上豊久	■ 川野顕太郎	■ 木村健次	■ 佐藤靖成										
■ 種田明美	■ 時枝寛	■ 東博子	■ 福岡佐知子										
■ 山田明	■ 吉田晴希												
事務局	コミュニティ協働推進課（中野課長、中脇係長、櫻井、元岡、神）												

はじめに（9：15～9：30）

コミュニティ協働推進課中野課長からあいさつ

ご多忙の中出席いただいたことへのお礼。本日は、市民サービス協働化提案についてご審議いただき。申請内容についてぜひ率直なご意見をいただきたい。

事務局から、別紙資料に基づき、審査会の流れについて説明

1. 審査会（9：30～11：40）

**ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像「ごみ減量・リサイクル推進事業」
市関連部署；環境課**

提案団体から提案内容について追加資料に基づき説明

担当課から前回の事前学習時に出された質問に関して説明

- ・普及率のデータに関する質問への回答
→市民アンケートで宗像市全体の普及率を調査したい。
- ・別紙配布資料に基づき、活動費の内訳について説明
- ・予算・決算書の繰越金について説明。3月に団体の決算手続が行われた後、4月に繰越金が入ってくる。

《質疑応答等》

（質疑）これまでコミュニティと連携しながらフォロー講座をしているが、その講座は継続するのか。

（団体より応答）継続する。

(質疑) 自治会で実施する講座は新規か。

(団体より応答) これまでは依頼のあったところで開催していた。その活動をとおして高齢でコミュニティ・センターに足を運べない方がいることに気付いた。これからは、自治会での講座にも力を入れていきたい。

(質疑) 自治会への働きかけを担当課としてどう考えているか。また、実績として、ゴミを8,000t減量できたことを担当課としてどう考えるか。団体へ。前回の事前学習時に出た質問で、アパート住まいの方への堆肥処理の対応はどうしているか。

(担当課より応答) 一つ目の質問に対して。自治会の集まりで話すか環境課が年度当初に開催している説明会で話すか検討中である。二つ目の質問に対して。ゴミ袋の中の30~40%は生ゴミで水分が多く焼却の際にエネルギーが多くかかる。団体には、その減量に協力いただいていることに感謝している。これからもぜひご協力お願いしたい。

(団体より応答) 当団体が畑を持っているので、引き取りますとお伝えしている。環境課でも広報紙に案内を出して引きとっている。

(質疑) 前回の事前学習会時に活動費の内訳を教えてくださいとお伝えしていが、今回の資料で詳しいところまで理解できた。ゴミを8,000t減量したことによる効果を金額面でも出して欲しい。

(団体より応答) 約1417万円の支出削減につながっている。

審査シート記入

特定非営利活動法人男女共同参画ゆいネット宗像「男女共同参画推進事業の実施及びセンター管理運營業務」
市関連部署；男女共同参画推進課

提案団体から提案内容について資料に基づき説明

担当課から提案内容について説明

《質疑応答等》

(質疑) 団体へ。まず、出前でPTAやコミュニティに行って共催講座をしているとのことだが、内容は健康講座以外に男女共同参画についてもあるか。2つ目に、簿記の講座の検定試験の合格率が100%の理由は何か。担当課へ。LGBTについてなど、団体には予算の中でぜひ研修を受けて勉強してほしい。この点について、担当課からも意見を。

(団体より応答) 1つ目の質問に対して。PTAなどには、申込みの前段階で案内をしているが、男女共同参画というテーマが難しい印象を与えるのか実施していただきにくい。まずは、健康に関するテーマなどで実施後、男女共同参画に関するテーマを選んでいただければと考えている。健康講座をする時に、男女共同参画についても、10分程度話をさせていただいている。

2つ目の質問に対して。理由としては、一番は受講者の努力だと思われるが、合格率が高くなるよう講師を選定している。本来、認定試験は特定の会場で受けなければならないが、メイトム宗像で受けられる点も理由かもしれない。業者選定の際、行政が行うと毎回変わるが、団体が継続してやることで、安価で良い業者を選定できる。

(担当課より応答) 研修にはぜひ行っていただきたい。必要な予算を計上していただきたい。

(質疑) 資料3 1ページの人件費は、なぜ事業費と管理費に分けないといけないのか。

(団体より応答) NPO法人に関する会計基準で分けて計上している。

(質疑) 別紙資料4の人件費のH28年度の配分について。副理事長は手当がないのか。

(団体より応答) H28年度は、事務局長が副理事長を兼務していた。

(質疑) 理事長と事務局長の賃金を説明してください。

(団体より応答) 理事長は月6万円、事務局長は月17万円である。

(質疑) 市民から意見をいただくことはあるのか。

(担当課より応答) 男女共同参画推進懇話会に市民公募の委員さんがいる。その中で意見をいただいている。

(団体より応答) センターの事業については、毎回アンケートを通じて意見をいただき、次年度からできるだけ取り入れるようにしている。

(質疑) 講座が多岐に渡っているので、メッセージが伝わりにくくなってはいないか。

1つ目の質問として、前年度の6月に計画を立てて柔軟性を持たせるようにとされているが、早く立てると動きづらくなったりはしないか。2つ目に、講座をするごとに企画・広報などをすると大変だと思うので、連続講座などをしてはどうか。

(団体より応答) 前年度6月に講座の計画を立てないといけないかということについて。メイトム宗像の先行予約の時期がその時期で、前もって会場を確保して、仮テーマを決める必要があるからである。会場を確保して、予算が決まる11月頃に本格的にテーマを決め、講師と内容をつめた後に広報している。資格取得講座は、月1回担当課との講座で市の施策も取り入れている。2つ目の質問に対しては、まとめられるものはできるだけまとめて市の広報紙で案内している。

(質疑) 案内は、広報紙のみか。

(団体より応答) チラシ・ポスターも作成して各地区コミュニティ・センターに配布している。

(質疑) 年1回懇話会を開催しているとのことだが、委員会の構成員の比率はどうなっているか。

(担当課より応答) 男女各50%で、年齢は50～60歳代が多い。

(意見) 男性の料理教室があつていいと思うが、家事は料理だけではない。委員には若い人を入れてほしい。

(意見) 吉武地区では、月1～2回コミュニティで男性向けの料理教室をしている。参加者は60～80歳代で15～16人程度。

(意見) メイトム宗像のHPから講座の内容を見ることができるようだが、若い方も見ることができるようスマートフォン対応にしてはどうか。

審査シート記入

むなかた電子博物館運営委員会「海の道むなかた館展示活用事業」

市関連部署；郷土文化課

提案団体から提案内容について資料に基づき説明

担当課から提案内容について説明

《質疑応答等》

(質疑) 非常に中身の多いものになっていると思う。パンフレットの中に世界遺産委員会が関わっているとの記載があるが、世界遺産関連でどういう風にしたら利用率が多くなると思うか。

(団体より応答) 最近スマートフォンの利用が多くなったのに伴い、グーグルの検索数が一番多くなった。だが、むなかた電子博物館はスマートフォンに対応していないため、「世界遺産」というワードで検索してもむなかた電子博物館は出てこない。そこで、今後少しずつスマートフォンに対応させていきたい。最近のスマートフォンはフラッシュも使えないため、移行出来るデータ量に制限もある。

(意見) 広報紙やパンフレットなど、紙ベースでも配布して一般の方にPRしてはどうか。

(団体より応答) パンフレットの他に紀要を作って図書館などに置いてもらっている。

(質疑) 市ではPRしているか。

(担当課より応答) 広報、周知については市がすべきだが、まだ十分ではない。海の道

むなかた館のチラシを作成したり、北斗の水汲み海浜公園や夏の課外授業などのリアルな場面で体験をしたりしてもらっている。また、海の道むなかた館の来場者にパンフレットを配布している。

(意見) 沖ノ島が世界遺産に登録されたという内容にしてほしい。

(団体より応答) 現在、校正中である。

(意見) むなかた電子博物館のHPはムナカタ仙人が出てきて、子どもたちが学びやすくなっている。教育委員会とも連携をしてほしい。

(担当課より応答) 教育委員会の担当職員が、以前郷土文化課でむなかた電子博物館の担当をしていたので、子どもたちに利用してもらいたいというような話をしている。

(団体より応答) パンフレット上の地図では、目的地までどうやって行っていいかわかりにくいですが、むなかた電子博物館上で地図をクリックしたら、経路がすぐにわかるように今検討している。

(意見) むなかた電子博物館の名称を分かりやすくしてはどうか。

(団体より応答) この名称にしたのは、今の海の道むなかた館が出来る前にウェブ上で博物館を運営するというかたちでスタートしたいきさつがあるからである。今後検討したい。

(意見) 電子博物館を自分の子どもと一緒に見たが、小学生には難しすぎる。学校の先生を目指す大学生の息子も見た。専門的に見たい人と少し知りたいという人がいる。博物館の前段の図鑑のようなものがあるといいのではないか。

(Web ページ制作担当) 世界遺産委員会の委員は大学の先生が多く「見せる」より学術的になっているので、ウェブページの製作を担当している私からは「見せる」ということを提案させてもらっている。リニューアル後のコンテンツは分かりやすく使いやすいものにしたいと考えている。

2. 検討会（11：55～）

ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像「ごみ減量・リサイクル推進事業」

審査結果：採択

「特に考慮をお願いしたい点」

【提案団体に対して】

- ・ 広報強化による市民理解の促進
- ・ 小中学校など、教育現場との連携
- ・ 自治会での講座数増加に対応するための新規スタッフ養成の継続

【担当課に対して】

- ・ 広報・啓発のより一層の充実。
- ・ 提案団体と協働で行う自治会でのゴミ減量講座開催の働きかけ。
- ・ ダンボールコンポストに加え、他の手法でのゴミ減量施策の推進。
- ・ 事業継続のためのスタッフ手当充実に向けた検討。

特定非営利活動法人男女共同参画ゆいネット宗像「男女共同参画推進事業の実施及びセンター管理運営業務」

審査結果：採択

「特に考慮をお願いしたい点」

【提案団体に対して】

- ・ 若い世代が関心をもち、また、講座等の情報が得やすくなるような広報手法の検討
- ・ 男女共同参画社会について、現状の課題や理論について深く学べる連続講座等の開催の検討
- ・ 対象者が参加しやすくなるための工夫

【担当課に対して】

- ・ 教育・啓発方法のより一層の工夫。
- ・ 提案団体職員の研修機会の確保。
- ・ 男女共同参画社会の実現のための市の積極的な取組。
- ・ 対象者が参加しやすくなるための工夫。
- ・ 若い世代がスマートフォンで情報受信できるような環境の整備。

むなかた電子博物館運営委員会「海の道むなかた館展示活用事業」

審査結果：採択

「特に考慮をお願いしたい点」

【提案団体に対して】

- ・一般市民が容易にアクセスでき、情報を得ることができるサイトへのリニューアル
- ・市民が身近に感じるための事業名称変更の検討
- ・事業継続のための技術継承
- ・市民協働や市民目線を意識した運営（情報収集、情報発信等）

【担当課に対して】

- ・新パンフレットの効果的な配布。
- ・広報強化による利用者の増加。
- ・教育委員会や教育現場との連携及び協働を着実に実行すること＝
- ・市のPRや市民意識向上のためのスマートフォン対応の分かりやすいシステム構築に要する予算措置。

3. その他

今後のスケジュールの確認

（意見）人づくりでまちづくり事業補助金の行政テーマの採択基準の再検討をしてはどうか。

（事務局より応答）検討する。

＝ 散 会 ＝